

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

都市環境整備課

1 施設の概要等

施設名	広島県立びんご運動公園		
所在地	尾道市栗原町997		
設置目的	備後地域住民のスポーツと多様なレクリエーション活動の振興		
施設・設備	健康スポーツセンター、陸上競技場、テニスコート、野球場、球技場、コミュニティプール、冒険の森、多目的広場、オートキャンプ場など		
指定管理者	5期目	R3.4.1~R8.3.31	イズミテクノ・RCC文化センター・シンコースポーツ共同企業体
	4期目	H28.4.1~R3.3.31	イズミテクノ・RCC文化センター・シンコースポーツ共同企業体
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	ポラーノグループびんご
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	ポラーノグループびんご
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	尾道市

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R7	739,017人	552,422人	3,413人
R6		729,761人	549,009人	52,094人	△180,752人(75.2%)
R5		698,320人	496,915人	△11,512人	△201,405人(71.2%)
R4		674,174人	508,427人	107,678人	△165,747人(75.4%)
R3		634,174人	400,749人	△244,777人	△233,425人(63.2%)
	4期平均 H28~R2	708,150人	645,526人	△26,419人	△62,624人(91.2%)
	3期平均 H23~H27	667,914人	671,945人	19,073人	4,031人(100.6%)
	2期平均 H20~H22	656,450人	652,872人	22,544人	△3,578人(99.5%)
	1期平均 H17~H19	610,560人	630,328人	43,388人	19,768人(103.2%)
	H16(導入前)	—	586,940人	—	—
増減理由	○プロ野球ウエスタンリーグ公式戦誘致等による微増				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	公園利用者 845名
	利用者意見箱の設置	公園利用者 24名
	受付、打合せでの聞き取り	スポーツ団体 26団体
	【主な意見】	【その対応状況】
	特定公園施設設置工事の安全対策	警備員の配置や掲示等で事故防止に配慮
アリーナ内の空調が効きにくい	少し早めの起動と大型扇風機で攪拌を行った	
園内に枯木や雑草があり危険である	指摘箇所については時期を応じて伐採や刈取り実施	

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次報告書
	日報(必要随時)	○ 事故等報告書
管理運営会議(2回・現地)	【特記事項等】 利用人数及び利用料収入の回復状況と、物価高騰による経費増 時期指定管理者へのスムーズな引継ぎの実施	
現地調査(7月、12月ほか随時実施)	【指定管理者の意見】 収支改善のため利用料金の見直しを要望 【県の対応】 物価高騰など一部経費について包括協定を見直し、委託料の増額により負担した	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度			料金収入 (決算額)	年度			
	年度	金額	対前年度増減		年度	金額	対前年度増減	
県委託料 (決算額)	5期	R7	187,529	12,577	5期	R7	76,977	2,571
		R6	174,952	3,874		R6	74,406	9,241
		R5	171,078	△20,551		R5	65,165	△700
		R4	191,629	2,200		R4	65,865	31,202
		R3	189,429	30,677		R3	34,663	△34,623
	4期平均H28～R2		158,752	10,466	4期平均H28～R2		69,286	2,225
	3期平均H23～H27		148,286	△214	3期平均H23～H27		67,061	1,920
	2期平均H20～H22		148,500	△18,751	2期平均H20～H22		65,141	4,993
	1期平均H17～H19		167,251	△6,508	1期平均H17～H19		60,148	△1,605
	H16 (導入前)		173,759	—	H16 (導入前)		61,753	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	187,529	174,952	12,577	物価高騰分県補填額増
		料金収入 (※1)	76,977	74,406	2,571	利用者回復による収入増
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	264,506	249,358	15,148	
	支出	人件費	82,272	82,272	0	
		光熱水費	67,983	66,708	1,275	光熱水費単価増
		設備等保守点検費	17,091	17,091	0	
		清掃・警備費等	73,548	72,984	564	人件費高騰による委託料の増
		施設維持修繕費	1,976	1,961	15	
		事務局費	17,526	14,764	2,762	人件費や共同企業体管理費高騰による増
		その他	4,456	4,748	△292	物品仕入他購入費の減
		計(B)	264,852	260,528	4,324	
	収支①(A-B)		△346	△11,170	10,824	
	自主事業 (※2)	収入(C)	33,157	38,942	△5,785	プール故障に伴う水泳教室休止による減 指定管理者交代による各種教室の前払い金の減
		支出(D)	25,508	26,629	△1,121	プール故障に伴う水泳教室休止による減
収支②(C-D)		7,649	12,313	△4,664		
合計収支 (①+②)		7,303	1,143	6,160		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	SNS等を活用し、イベント情報提供や利用者とのコミュニケーションを図った。 競技団体と連携をとり、トップアスリートによる体験講座やニュースポーツの体験講座の開催など、スポーツへの関心の増進を図った。 7年ぶりにプロ野球ウエスタンリーグ公式戦を誘致し、利用団体と連携して盛況に実施することができた。 プールボイラーの損傷やサブアリーナの照明落下により施設の臨時休業が発生したが、早期の修繕発注と広報告知による利用者への周知と理解を図った。	イベント情報等についてSNS等を積極的に活用して利用者の促進に貢献した。 競技団体とも連携し、施設の設置目的に沿った業務行い利用促進を図った。 大型イベントの再誘致により、施設利用者の増加を図った。 突発的な故障に対し、迅速に対応を行った。
	○業務の実施による、県民サービスの向上		
	○業務の実施による、施設の利用促進		
	○施設の維持管理		
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	スタッフの入替はあったが、各施設の責任者を明確にして利用者に支障が出ないようにした。また、次期指定管理者の引継ぎについても、積極的に行った。 利用者数が回復する中、電子決済や電子メールによる利用申請の受付など、効率的な運営を図った。 物価高騰に対する補填のおかげで、収支の適正化が図れた。	施設の更新等に合わせ外部委託する点検業務の内容を見直すなど、効率的な業務運営を行った。 デジタル技術の活用により、運営の効率化を図った。
	○効率的な業務運営		
	○収支の適正		
総括		施設毎による差はあるが、全体としては、施設利用者数は回復傾向にある。 ボイラーの故障やサブアリーナ天井照明落下により利用休止期間が発生したものの、早期解決に努めた。 スポーツ教室の継続により受講者を増やすとともに、トップ選手による直接指導の講座を積極的に開催することで、利用者の満足度向上に努めた。 また、次期指定管理者への確かな引継ぎを行うことで、利用者の負担軽減に努めた。	継続的な情報発信など、利用者とのコミュニケーションを継続的に図ることで、地域の信頼を得るべく努力を行った。 施設老朽化等に伴う大規模な改修工事があり、施設の利用が制限される中で、利用者の維持に努めた。 施設の老朽化およびバリアフリー化の推進のため、今後も指定管理者と連携し計画的に改修工事を進める必要がある。 次期指定管理者への引継ぎに尽力した。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	○適正で確実な業務引継ぎの実施 ○陸上競技第2種検定更新のための整備 ○夏休み工作講座やキッチンカーマルシェなどの賑わいの創出 ○自主事業教室等の円滑な開校の引継ぎ ○園内花壇の整備とともに樹木点検による倒木事故等の防止継続	○利用者ニーズに応えた老朽化改修を進め、利用者増に取り組む ○陸上競技場の改修工事の実施 ○新たな賑わいの創出にむけたフォロー
中期的な対応	○令和5年度の落雷による設備損傷の復旧および老朽化した施設と設備改修計画について県と連携し効率的な改善 ○トイレ洋式化未実施施設の改修 ○公募対象公園施設及び特定公園施設の活用	○老朽化施設の更新及び灯具LED化の推進 ○トイレ改修とともに施設全体のバリアフリー化の検討 ○各施設の利用状況の確認及び利用者増に対応できる環境整備の推進